

5 AI分析基盤・AI自動化プログラムソリューション

# 地域金融機関向けに営業活動・融資業務を支援するAIソリューションの商用化を検討

マイナス金利や顧客ターゲットとなる人口の減少が続く中、地域金融機関が本業である資金利益を創出するためには効率的・効果的な営業活動や融資審査の高度化が欠かせない。NTTデータでは、地域金融機関向けの基幹システムを手掛けてきた知見と最新技術を融合させたAIソリューションの検討を進めている。

## 地域金融機関向け AIソリューションの現状

地域金融機関においては、多様な顧客ニーズに対応して効率的・効果的な営業活動、審査の高度化を支援を展開すべく、人工知能（AI）を用いた各種ソリューションの導入が検討されるようになってきている。

しかしながら、

- ・AIの特性として再現性が担保されず精度保証ができないため適切な投資対効果の測定ができない
- ・AIの再学習を続けていく必要があり導入当初からすぐに効果が出ると見込めない
- ・金融機関向けの安全対策基準

（FISC）に沿った構築にコストがかかる

などの課題に直面し、業務での活用が実現されている例はあまり多くない。

## データのアップロードのみで予測データを得られる

開発を進めているAI分析基盤・AI自動化プログラムは、これらの課題を解決し、迅速に、安価に、安全に導入できるものとなっている。

金融機関は、自分たちの持つデータをクラウドセンターにアップロードするだけで、AIモデルによってスコア化された顧



株式会社 NTT データ  
 第三金融事業本部 戦略ビジネス本部 システム企画担当  
 （上段左から）課長代理 栗原 崇氏  
 課長 山野 清晴氏  
 技術革新統括本部 システム技術本部  
 デジタル技術部 Agile プロフェッショナルセンタ  
 課長代理 菊地 貴彰氏  
 （下段左から）しんくみ事業部 信用組合担当  
 主任 福島 慶彦氏  
 課長 平井 雅人氏

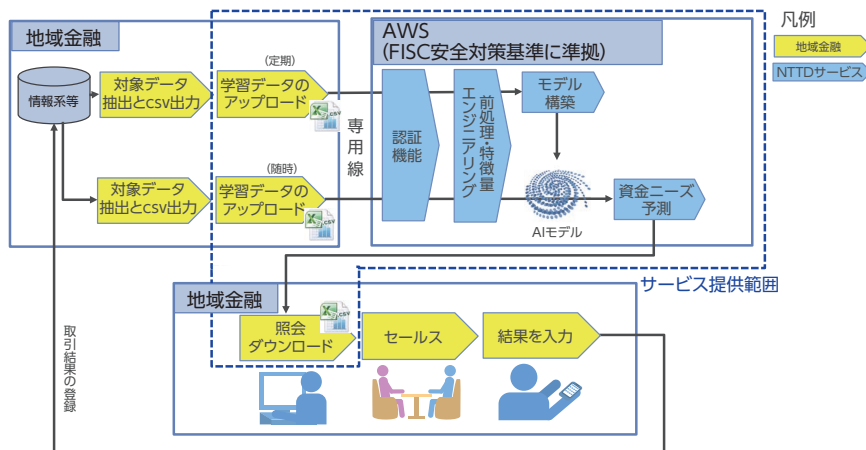


図1 サービス提供プロセス（案）

客ごとの資金ニーズなどの予測が得られ、訪問先の選択などの営業活動に活用することができる。（図1）

システムの構築や運用に関するスキルとノウハウを内部に持つ必要がなく、迅速かつ安価な導入と、着実な運用が可能だ。

## パブリッククラウド上の共通基盤に個々のモデルを構築

信用金庫や信用組合などの地域金

融機関で単独で基盤や AI モデルを構築するのは負担が大きくなる。また、分析するための情報も業態によっては、収集しているデータ構造に差異があり、同じ業態内でデータ構造が同じでも個別金融機関によって中身の情報には差異があるため、個別事情に応じたモデルを構築していく必要がある。そこで、パブリッククラウド上に安全対策基準（FISC）に準拠したセキュアな AI 分析プラットフォームを構築（社内開発した「A-gate®」\*を活用）し、業態や個々の金融機関に応じた AI モデルを「安く」「早く」「高精度な AI モデル」の実現を検討していくこととした。

現在サービスメニューとして検討しているのは資金ニーズ予測 AI、顧客ターゲティング AI と融資審査支援 AI で、それぞれ実現できる効果には以下のようなものがある。

**資金ニーズ予測 AI と顧客ターゲティング AI**：法人・個人向けにいつ、どのお客様に資金ニーズがあるかを予測

- ・潜在的な顧客ニーズの掘り起こしによる収益向上
- ・訪問リスト作成の効率化によるコ

スト削減

- ・資金ニーズを可視化し訪問先選択判断のノウハウを見える化
  - ・顧客ニーズ予測に基づいた営業活動の実践による顧客満足度の向上
- 融資審査支援 AI**：融資審査実績から新たな融資審査の判断を支援
- ・審査の高度化による融資対象の拡大・収益の向上
  - ・審査業務に定量基準が組み込まれることで審査コストが削減
  - ・審査対象企業の問題点が明確になり事業性評価が可視化

### 最新技術とノウハウを総動員

この基盤開発とモデル構築には、NTT データグループの知見と技術力を総動員している。基盤自体は顧客に直接価値を生み出すものではないため、AWS（Amazon Web Services）のマネージドサービスを活用することとし、顧客ニーズをいち早く実現することを目指した。

また、共通基盤としてさまざまなプログラムの開発につなげ、他の業態への展開を可能とするには、AWS の各種サービスの組み合わせなども

含めた全体最適の模索が欠かせないため国内有数の APN Ambassadors である菊地貴彰氏をチームに迎え開発を進めている。

信用金庫向けに先行して開発されていた資金ニーズ予測モデルで実用性を確認できたため、信組向けにも信組のデータを元にした AI モデル作成の技術検証を、昨年度あるお客様と共に検証を進めた。信金と信組では保有しているデータの種類やその形式の違いがあることも明らかとなり、それを埋めるための技術検証を行ってきた。同時に、他の複数のお客様にも声をかけ、共通基盤としての運用とモデル精度の検証を進めているところである。

### 業態横断の地域金融機関向けソリューションを目指して

今後はさらなるメニューの拡充を目指している。営業活動であれば、訪問計画の策定や折衝記録の作成、融資に関わる稟議作成支援や顧客の業況検知モニタリングなど、一連の営業活動や融資業務の効率化・高度化につながるメニューモデルを検討している。

また、現在は信用金庫業態、信用組合業態向けに提供したいと考えているが、将来的には JA 業態、地方銀行等も含め、地域金融機関全体に向けたソリューションとしての展開をしたいと考えている。

これまで培ってきた知見とお客様との信頼関係をベースに、最新の技術動向を取り入れて、地域金融機関の発展に貢献していく。

\* A-gate とはパブリッククラウドのセキュアな利用を導入から運用まで一元的に支援する NTT データのサービス

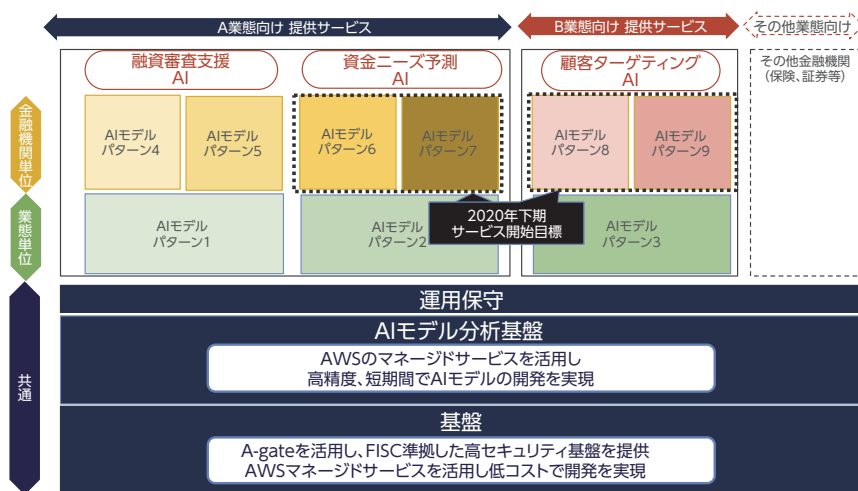


図2 AI分析プラットフォーム全体像